

## 寺院・仏閣（宗教施設） 広島県

作品番号：043

## 曹洞宗 八屋山 普門寺 庫裏

- 所在地：広島県広島市中区大手町
- 設計者：古本 竜一（広島県建築士会）
- 勤務先：株式会社 古本建築設計
- 施工者：株式会社 共立
- 建物用途：寺院・仏閣（宗教施設）
- 構造・階数：鉄筋コンクリート構造・3階
- 敷地面積：311.66
- 建築面積：221.95
- 延床面積：472.54
- 施工：平成23年6月28日



都心にある禅宗のお寺である。境内の片隅にあった庫裏の建替えだが、単なる再建計画ではない。境内の回遊性、本堂への求心性、庭への開放性という観点から配置計画を再構築し、そこに建築の形態、意匠を乗算して「地域に開かれたお寺」という施主の理想、そして、寺社としての普遍性、精神性を都会の中に実現するのである。

## 寺院・仏閣（宗教施設） 愛知県

作品番号：051

## 正願寺

- 所在地：愛知県豊川市市田町
- 設計者：堀越 英嗣（東京建築士会）
- 勤務先：株式会社 堀越英嗣 ARCHITECT 5
- 施工者：竹中工務店 名古屋支店
- 建物用途：寺院・仏閣（宗教施設）
- 構造・階数：木造（一部鉄筋コンクリート造）本堂鉄骨造 1階
- 敷地面積：6,153.21
- 建築面積：1,467.33
- 延床面積：1,224.90
- 施工：平成24年3月15日



本来、浄土真宗の地域の寺院は、共同作業を通じた連帯の場所で「公民館」として災害時の拠点となる役割を持った地域のコミュニティ空間であった。江戸時代以来形式化した寺とは異なる原型的あり方に宗教空間の本質的役割を見出すことで、東南海地震に備えた地域住民の交流と心の拠点となる構造や設備を備えた新しい寺院を計画した。